

2025
5.15

NEWS

CIT

千葉工業大学 入試広報部

〒275-0016
千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号
TEL 047(478)0222
FAX 047(478)3344

[NO.695]

<https://chibatech.jp/>

成功大学調印式にて

国立成功大学と 包括連携協定を締結

本学と台湾・国立成功大学(台南市)は3月、包括的な協力関係を築き、学問の振興と学術的な協力を促進することを目的として、包括連携協定および学生交換プログラムに関する覚書を締結しました。今後、学生や教職員の交流、半導体や航空宇宙工学分野での共同研究などにおいて協力関係が進むことが期待されています。

3月26日に国立成功大学で行われた調印式には、本学の瀬戸熊修理事長を始め、前田修作常務理事、佐波孝彦副学長、長尾徹副学長(当時)らが出席しました。国立成功大学のチャン・ウェイ・ジャー副学長は「これまでの連携の延長ではなく、私たちのパートナーシップにおける新たな章の始まりです。教職員や学生の交流機会をより多く創出できることを楽しみにしています」と期待を示しました。

(関連記事P2)

P2 国立成功大学と包括連携協定を締結 半導体や航空宇宙工学分野で技術交流をめざす／令和7年度予算案を承認／令和6年度後期のグッド・レクチャー賞、ベスト・ティーチャー賞が決定

P3 情報処理学会第42回コンシューマ・デバイス&システム研究会にて森信一郎研究室の学生3名が受賞／堀内さん、溶接学会 優秀ポスター発表賞を受賞

P4 未来ロボット技術研究センターの6名が「ロボティクスシンポジウム優秀賞」を受賞／1/20スケールの「体験型教材模型」が国立新美術館へ／「かつうらビッグひな祭り」に鎌田研究室が参加

P5 よさこいソーラン風神部が「敢闘賞」を受賞／東京スカイツリータウン®キャンパス来場者120万人を達成／令和8(2026)年度 千葉工業大学入学試験日程

P6 新任紹介

P7 第30回文化の祭典を開催

P8 就職・進路支援だより／コラム

半導体や航空宇宙工学分野で技術交流をめざす

1931年に台湾総督府台南高等工業学校として創立された国立成功大学は、台湾中南部に位置する指定国立研究大学6校の1つで、頼清徳総統が卒業したことで知られています。学生数は約2万3,000人（大学院生は約1,200人）で、11のキャンパスの中に10学部44学科・36研究科・18研究センターがあり、大学病院もそろえています。

半導体分野に強く、政府系研究機関である「台湾半導体研究センター」と共同で次世代異種機能集積技術に関するフォーラムを開催するなど産業界にも影響力があります。また、航空宇宙工学分野は台湾最高レベルで、シリコンバレーのベンチャー企業とも連携し、人工衛星ミッションとして超小型衛星を開発。最近では地球観測衛星の産学連携プロジェクトに参画し、高解像度光学衛星にも貢献しています。

本学と国立成功大学は2019年からデザイン分野での協力関係を開始しましたが、さらなる協力拡大に向けて瀬戸熊理事長らが2024年11月に訪台。宇宙や半導体分野をはじめとする技術交流により、「半導体・デジタル産業」の強化と高度専門人材育成の要請に応えるため、



瀬戸熊理事長の強いリーダーシップで国立成功大学と包括的な協力関係を築くことにつながりました。

令和7年度予算案を承認

3月25日、東京ガーデンパレスで開かれた本学理事会・評議員会で、令和7年度予算案が承認されました。事業計画、予算の概要については、本学webサイトに全文を公開しています。

事業計画について



令和7年度予算案について



令和6年度後期のグッド・レクチャー賞、ベスト・ティーチャー賞が決定



令和6年度後期グッド・レクチャー賞に教員20名が選ばれ、5月9日の受賞式で表彰されました。その中から教育センターの中村達准教授が同年度ベスト・ティーチャー賞に決定しました。

過去5回以上ベスト・ティーチャー賞を受賞した教員はDistinguished Teacher、同5回以上グッド・レクチャー賞を受賞した講義はDistinguished Lectureと認定され、令和2年以降は表彰対象外としています。

Distinguished Teacher

デジタル変革科学科・鴻巣努 教授

Distinguished Lecture

未来ロボティクス学科・米田完 教授／建築学科・石原沙織 教授／教育センター・佐藤和 教授／引原有輝 教授／市川洋子 助教

今年度後期受賞者は次の通り（順不同）

令和6年度ベスト・ティーチャー賞

教育センター（未来変革科学部）中村 達 准教授

令和6年度後期グッド・レクチャー賞

機械工学科・熱海 武憲 教授／機械電子創成工学科・新井 浩志 教授／電気電子工学科・松田 忠典 准教授／山崎 克巳 教授／都市環境工学科・橋本 紳一郎 教授／未来ロボティクス学科・大川 茂樹 教授／教育センター・橋口 秀子 教授／横山 利章 教授／相川 文弘 教授（令和6年度末定年退職）／東山 幸司 教授／渡邊 努 教授／木島 愛 教授／野村 由実 准教授／遠藤 伸太郎 准教授／中村 達 准教授／K.R.ジョンソン 助教／高松 佑介 助教／日吉 信貴 非常勤講師／森林 駿介 非常勤講師／笹野 祐輔 非常勤講師（順不同）

情報処理学会第42回コンシューマ・デバイス&システム研究会にて 森信一郎研究室の学生3名が受賞

2025年1月23日～24日に鹿児島県奄美市で開催された「情報処理学会 第42回コンシューマ・デバイス&システム研究会」において、先進工学研究科知能メディア工学専攻 森信一郎研究室に所属する大学院生3名が、それぞれの研究成果により表彰されました。受賞したのは、白濱結友音さん、松田樹希さん、長谷川琉久さんの3名で、いずれの研究も、実社会における課題解決を目指し、具体的な成果と検証に基づいた実践的なアプローチが特徴です。今後の更なる展開に大きな期待が寄せられます。



しらばま ゆうね
白濱 結友音さん

先進工学研究科 知能メディア工学専攻 修士課程1年
(受賞時: 知能メディア工学科4年)

受賞名: 優秀発表賞

研究題目: WebRTCを利用した4ch通信サービス実現に向けた課題抽出とその評価

立体音響のリアルタイムリモートサービス化に向けて、WebRTCを利用した4ch通信技術を開発し、音像定位の精度や映像との同期性に関する課題の明確化と評価を行いました。音像定位実験や音の遅延調査を通じて、今後のシステム構築に向けた技術的知見を提示しています。

「恵まれた環境と仲間の中で研究できたことが受賞に繋がりが嬉しい限りです。これからも研究に励んでいきたいです」と話しています。



まつだ たつき
松田 樹希さん

先進工学研究科 知能メディア工学専攻 修士課程2年
(受賞時: 1年)

受賞名: 学生奨励賞

研究題目: GAP普及における農家指導のための重点指導対象者選定に関する研究

日本社会がメンバーシップ型雇用からジョブ型雇用へと移行する過渡期において、農業分野における社内教育に焦点をあてた研究です。従来のナレッジマネジメントツールを用いたスキル評価による選定方法では、ジョブ型社会に適合しない点を指摘し、より抽象的な「考え方」の違いから重点指導対象者を選定する手法を提案・検証しました。

「二年連続での受賞となり大変光栄です。森先生と研究室メンバーに深く感謝します」と述べています。



はせがわ りゅうく
長谷川 琉久さん

先進工学研究科 知能メディア工学専攻 修士課程1年
(受賞時: 学部4年)

受賞名: 学生奨励賞

研究題目: 地域特産品の販路拡大に向けた高齢農業従事者支援システムの提案

本研究では、高齢農業従事者にとって障壁となる出品から配送までの一連作業を支援するEC支援システムを開発しました。LINEという高齢者にも馴染みのあるプラットフォームを採用し、ID入力不要で商品の撮影のみで出品できる機能や、配送伝票の自動発行機能を搭載。商業ベースでの実証実験を通じてその有効性を確認し、実用化に向けた企業との共同開発も進行中です。「研究協力者の皆様と森先生の支えがあっての成果です。今後も研究を通じて社会に貢献していきたい」と語っています。

堀内さん、溶接学会 優秀ポスター発表賞を受賞 —鉄鋼材料の溶接における酸素の影響を解析、溶接現場への応用に期待—

先端材料工学専攻 修士課程1年の堀内豪暉さん(小澤俊平研究室)が、2024年度 溶接学会 優秀ポスター発表賞を受賞しました。受賞対象は、同学会のポスターセッションにおける研究発表で、内容・構成・発信力が優れていると認められたものです。授賞式は4月22日、学術総合センター(一橋講堂)にて行われました。

堀内さんの研究テーマは、「Fe-NiおよびFe-Cr合金融体の表面張力、温度、雰囲気酸素分圧の関係」。

鉄鋼材料の溶接プロセスの最適化には、正確な表面張力データが不可欠ですが、これまでの測定では雰囲気中の酸素による影響が十分に考慮されていませんでした。本研究では、

代表的な溶接材料であるFe-NiおよびFe-Cr合金を対象に、酸素分圧が表面張力に及ぼす影響を検討しました。その結果、Fe-Ni合金は酸素濃度に関わらず組成に対して良好な加成性を示しました。一方、Fe-Cr合金は酸素濃度が高いと温度低下に伴いクロムの表面張力に近づく傾向が明らかとなりました。

「賞をいただいたのは、日頃からご指導くださった小澤先生、栗林先生、附属研究所の清宮さん、そして実験に協力してくれた先輩方や同級生のおかげです」。また、ポスター制作においても、情報の整理や図表配置に配慮し、伝わりやすさを追求したことが評価につながったと振り返りました。



未来ロボット技術研究センターの6名が「ロボティクスシンポジウム優秀賞」を受賞 四脚ロボットの自律移動技術に高い評価

未来ロボット技術研究センターの入江清主席研究員、鈴木太郎上席研究員、松澤孝明研究員、原祥亮上席研究員、吉田智章副所長、友納正裕副所長の6名が、第30回ロボティクスシンポジウムにて「優秀賞」を受賞しました。

ロボティクスシンポジウムは、計測自動制御学会、日本機械学会、日本ロボット学会が共同主催するロボット分野の国内最高水準の学会で、発表内容は査読を経て選定されます。今回は84件の発表の中から、最優秀賞1件と並び、2件のみ選ばれる優秀賞に本学の研究が選出

されました。

受賞対象となったのは、昨年の四脚ロボットチャレンジで優勝した技術に関する研究発表で、深層強化学習による歩行方策と、ランダム性を取り入れた復帰動作を組み合わせることで、不整地環境でも安定した自律移動を実現した点が高く評価されました。

入江研究員は「競技会に続き、学術面でも評価をいただけたことを大変光栄に思います。今後はより複雑な環境にも対応できる四脚ロボット技術の開発を進めていきたい」と話しています。



受賞を喜ぶfuRoのメンバーたち

1/20スケールの「体験型教材模型」が国立新美術館へ 建築学科製作の「フィッシャー邸模型」が全国巡回展に出展



名作・フィッシャー邸の模型

建築学科で製作された、ルイス・カーン設計「フィッシャー邸」の1/20スケール模型が、現在、国立新美術館で開催されている展覧会「リビング・モダニティ 住まいの実験 1920s-1970s」に出展されています。

この模型は、アメリカに現存するフィッシャー邸を実際に訪れることが困難であることから、1年次の製図教育において空間構成やスケール感を実感的に学ぶための教材として、田島則行教授の指導のもと2016年に製作されました。模型の大きさは幅1.25m、奥行き2.25m、高さ1.2m。建築そのものだけでなく、その周囲の自然環境も

含めて再現されており、空間体験を重視した構成になっています。

設計には、ルイス・カーン事務所で実際に使用されていた実施設計図面（芝浦工業大学・松下希和教授提供）をもとに、細部に至るまで忠実に再現。その完成度の高さが評価され、今回の出展へとつながりました。展覧会は、20世紀の住宅建築における実験的精神や住まいのあり方を探るもので、全国巡回が予定されており、本学科の模型は2025年9月から兵庫県立美術館でも展示される予定です。

新入生オリエンテーションも展示会場で実施

この機会を活かし、建築学科では2025年度新入生オリエンテーションの一部を同展覧会の会場にて実施。新入生たちは、精緻な模型や展示全体を通じて、建築を学ぶ意義や広がりを感じました。担当教員による解説や現地での対話を通じて、学びへの意欲を高める機会となりました。



国立新美術館での建築学科オリエンテーション

「かつうらビッグひな祭り」に鎌田研究室が参加 地域の春を彩る祭りで、研究活動を発信

外房に春の訪れを告げる「かつうらビッグひな祭り」が、2月23日から3月4日まで勝浦市で開催されました。市芸術文化交流センターキュステや勝浦中央商店街をはじめ、市内各所に約3万体のひな人形が飾られ、街は華やかな雰囲気になりました。

本学都市環境工学科・鎌田元弘研究室の学生たちは、キュステホール内にブースを出展し、千葉県内のまちづくりに関する研究成果を展示。来場者と積極的にコミュニケーションをとりながら、大学での取り組みをわかりやすく

紹介しました。

本学は勝浦市と包括連携協定を締結しており、本イベントへの参加もその一環として位置づけられます。地域とともに学び、発信する貴重な機会となりました。

ブースには中高生の姿も多く見られ、大学での研究活動に興味を持つ様子がうかがえました。また、本学の卒業生も多く立ち寄り、懐かしそうに学生たちと言葉を交わすなど、地域と大学とのつながりを感じる場面もありました。



参加した鎌田研究室の学生たち

よさこいソーラン風神部が「敢闘賞」を受賞 長野県で開催されたよさこいイベントにて、初の出場で快挙

本学のよさこいソーラン風神部(主将:高橋蒼生・未来ロボティクス学科3年)が、2024年度演舞「^{あおい}奏向^{かなた}」を携えて、5月4日、長野県で開催されたよさこい祭りに参加し、「敢闘賞」を受賞しました。参加人数は踊り子40名、スタッフ2名の計42名。全国からチームが集う本大会への出場は、風神にとって初めての長野県での演舞披露となり、部員にとっても大きな挑戦となりました。

風神の存在を知らない地域で自分たちの踊りを届けたいという強い想いから、初出場ながら地域密着型のお祭りに果敢に挑みました。その結果「敢闘賞」を受賞できたことは、部にとって大きな

誇りであり、「奏向」最後の外部演舞となる舞台にふさわしい締めくくりとなりました。

高橋さんは、「現在2025年度の新演舞を制作中であり、代替わり20代目という節目の年にふさわしい演舞を目指しています。これからも、風神らしさを大切にしつつ、地域や全国各地での活動を通して、よさこいの魅力と踊りの楽しさを広く発信していく予定です」と、今後の意気込みを語っています。

「踊りを通じて人と人をつなぎ、観てくださる皆様の心に残る演舞を創る」——風神部の挑戦は、これからも続いていきます。



42名で掴んだ敢闘賞

東京スカイツリータウン®キャンパス 来場者120万人を達成

4月30日、東京スカイツリータウン®キャンパスが来場者120万人を達成しました。節目となる120万人目の来場者は神奈川県茅ヶ崎市からお越しの高橋さんご夫妻。

「定年退職を前に、最後の有給休暇を使って東京観光に来た。たまたまキャンパスを見かけ立ち寄りました」と話す高橋さんに、館内スタッフ

から記念のオリジナルグッズがプレゼントとして手渡されました。エリアI、エリアIIと丁寧な説明の元見学を終え、「展示がわかりやすく、小さな子どもたちにも科学への関心が広がると思います」「これからも日本のものづくりや先端技術の研究が進んでいってほしいですね」と、感謝の言葉を述べていました。



来場者120万人目の高橋さんご夫妻

令和8(2026)年度 千葉工業大学入学試験日程

総合型・学校推薦型・特別・編入学

試験種別	願書受付期間	試験日	合格発表日
総合型(創造)選抜 (書類審査・課題演習・面接)	9/11(木)～9/26(金)(消印有効)	10/11(土) 12(日)	11/1(土)
学校推薦型選抜(公募制) (書類審査・読解力テスト・面接)	11/1(土)～11/6(木)(消印有効)	11/23(日)	12/1(月)
学校推薦型選抜(専門高校) (書類審査・読解力テスト・面接)			
学校推薦型選抜(指定校制)【一般高校・専門高校】 (書類審査・小論文・面接)	11/1(土)～11/6(木)(消印有効)	11/16(日)	12/1(月)
学校推薦型選抜(帰国生徒指定校制) (書類審査・小論文・面接)	10/22(水)～11/6(木)(消印有効)		
特別選抜(帰国生徒) (書類審査・小論文・面接)	10/22(水)～11/6(木)(消印有効)	11/23(日)	12/1(月)
特別選抜(社会人) (書類審査・小論文・面接)			
特別選抜(外国人留学生) (書類審査・面接・日本留学試験結果)	9/24(水)～10/2(木)(必着)	11/23(日)	12/1(月)
編入学選抜 (書類審査・小論文・面接)3年次受入れ	9/24(水)～10/2(木)(必着)	11/23(日)	12/1(月)
編入学選抜(指定校制・高等専門学校) (書類審査・面接)3年次受入れ			

着任の感想や抱負を語って
もらいました

新任紹介

(敬称略)

教 員



なかやま よしたけ
中山 誠健
教授
デザイン科学科

明るくてチームワークの良い職場環境です。研究でも教育でも、常に新しい事にチャレンジし続けます。



ほそだ まさみち
細田 真道
教授
知能メディア
工学科

千葉工大出身です。在学中の面影が残っている懐かしいところもあり、だいぶ変わったなあと思うところもあります。母校の発展に力を尽くせるようになりたいと思います。



に いだ すまる
新井田 統
教授
認知情報科学科

大学の印象は、優しい先生方と真面目な学生。教育と研究の両面でしっかり大学に貢献をしていきます。趣味はテニス、釣り。



やまうち ひろし
山内 博
准教授
宇宙・半導体
工学科

先生方も学生さんも活気があります！千葉工大の魅力アップに頑張ります！研究テーマは、柔軟な有機エレクトロニクスデバイス。



よしこえ ゆうすけ
吉越 裕介
准教授
工学部 教育センター
化学教室

大学が一体となって大学教育をつくり上げようとする雰囲気。教育・研究の両面から本学の化学分野を盛り上げていきたいです。



たかまつ さとみ
高松 聖美
助教
先端材料工学科

歴史の重みと、未来への意欲が共存している印象です。軽金属分野、鑄造分野で活躍する人材を輩出すること、自身が取り組むテーマの先駆者となることに尽力します。



しらかわ まこと
白川 誠
助教
生命科学科

働きやすい環境だと思います。研究室の立ち上げを頑張ります。専門分野は、森林微生物学、分子生態学、菌類学です。



いじゅういん まさひろ
伊集院 大将
助教
高度応用情報科
学科

私自身が人間として成長するとともに、学生に千葉工大にきて良かったと思えるような指導をできるように頑張っていきたいです。



やなせ こうた
柳瀬 宏太
助教
工学部 教育センター
物理教室

大学の印象は海が近いこと。原子核理論物理学が専門分野です。科学を共に楽しみましょう。趣味は野球、スノーボード。

研 究 員



おか みずき
岡 瑞起
主席研究員
変革センター

「変革センター」の名称が体現する革新性と先見性に応えるべく、既存の概念に囚われることない、『面白さ』を追求したいです。

職 員



みうら ともはる
三浦 朋治
副グループ長
就職・進路支援部

学生一人ひとりの相談事・質問に対しても真摯に丁寧な対応をされている職場です。一日でも早く貢献できるよう、日々頑張っています。



まえだ さいいち
前田 才智
警備員
教学センター

思いやりのある人が多く、連携の取れた職場です。警備員として一日も早く信頼を獲得し貢献をしたいと思っています。趣味はサイクリング。

第30回文化の祭典を開催

— 30年の歩みを祝し、新たな文化の芽吹きを体感 —



5月11日(日)、千葉工業大学津田沼キャンパスにて、第30回文化の祭典(実行委員長・江尻 紘尉・情報ネットワーク学科4年)が盛大に開催されました。今年のテーマは「高度文化成長期」。30年の歴史を振り返りつつ、文化会加盟団体が日々の活動や研究の成果を披露し、地域住民や来場者と共に新たな文化の芽吹きを体感する1日となりました。

実行委員会は、30周年の節目にふさわしい企画として、学生や来場者が参加できる巨大モザイクアートをキャンパス内に設置。多くの来場者が記念撮影を楽しむフォトスポットとして賑わいました。また、理系大学ならではの企画「サイエンスLIVE」にサイエンスアーティストの市岡 元気さんが登場。SNS上で話題となるほどの盛況ぶり、科学の面白さを体感できる実験や展示が来場者の関心を集めました。

また、30回記念ゲスト出展として、自衛隊ブースが設置され、自衛隊で活躍する車両の展

示や、制服の試着体験など、普段触れることの少ない装備品などに多くの来場者が集まりました。

ステージでは、音楽サークルやアカベラサークル、書道などのパフォーマンスが観客を魅了。特に、よさこいソーラン風神部の力強い演舞「奏向」は、キャンパス全体を熱気に包み込みました。

各クラブやサークルによる展示や模擬店も充実。模擬店では、団子や製麺、フランクフルトなどが販売され、多くの来場者が味覚でも祭典を楽しみました。

実行委員長の江尻さんは「30年間で躍進した参加団体の魅力、本学の魅力を楽しく感じていただければ…」と祭典の成功を語りました。



新ロゴ初披露!文化の祭典を彩る新たな象徴

第30回文化の祭典では、本学の新しいロゴタイプが初めてお披露目されました。今回のリブランディングでは、世界的デザインスタジオ Pentagram によるシンボルマークと英語ロゴタイプをベースに、日本語ロゴタイプと活用ガイドラインを策定。「革新性」と「親しみやすさ」を兼ね備えた、洗練されたデザインが完成しました。

一般来場者へのお披露目に合わせて制作されたオリジナル法被を実行委員が着用し、新たなロゴとともに祭典を盛り上げました。30周年という節目にふさわしい記念演出となり、来場者の注目を集めました。



吹奏楽部



自衛隊



鉄道倶楽部によるブラレールの展示



実行委員長の江尻さん



オリジナル法被のお披露目



第30回記念バクタンちゃんモザイクアート前



書道部のパフォーマンス

就職・進路支援だより

就職・進路に役立つ情報をお届けします



4年生・修士2年生の皆さんへ

就職活動の本格化に伴い、すでに内々定を獲得された方もいるのではないかと思います。まだ活動中、または、うまく動けていないと感じている方も、就職・進路支援部には多数の求人情報が寄せられています。就職・進路支援部の面談や当日相談枠を活用し、今後の活動についてぜひご相談ください。

また、今後も学内企業説明会や個別企業説明会の開催情報をメール等でお知らせいたします。例年、内定につながるケースも多く、千葉工大生を積極採用する企業が集まる貴重な機会です。こまめに情報をチェックし、積極的に参加しましょう。

全学年対象：オープン・カンパニー

5・6月に「オープン・カンパニー」を対面およびオンラインで計5日間実施しました。各業界を代表する大手企業中心に約200社が参加し、のべ4,500名もの学生参加数となりました。業界や個社について企業採用担当者の話を直接聞ける絶好の機会となり、会社や業界に関する情報提供・PRなどを聞いて、進路選択の参考になったことと思います。後期は3年生中心に講座やセミナーを展開しますので、メール配信等で確認し、積極的に参加してください。

※オープン・カンパニー：企業や大学等が主催する学生のキャリア形成支援であり、個社や業界に関する情報提供・PRを行うイベントや説明会。オープン・キャンパスの企業版ともいえるプログラムで、いわゆる採用活動とは異なる。

国内インターンシップの単位認定について(3・4年生対象)

「国内インターン」の単位認定を希望する方は、ガイダンスや配信メールに記載された条件・締切をよく確認し、各自責任を持って申請してください。

「国内インターン」決定条件

- ・「準備講座」「マナー講座」「報告会」に出席し、就職システムに報告を入力
- ・インターン先が決まり次第「届出書」を入力し、5日間以上の就業体験を行う(午前午後を含む丸1日の体験を5日間以上、複数社単位、合算不可)
- ・実習後は「実習報告書」をアップロード(企業コメントと押印必須)

不明点がある場合は、早めに就職・進路支援部までお問い合わせください。

同窓会



本学は入試志願者に関して全国三冠を達成した。総合大学でもなく超大規模校でもなく有名校でもない千葉工大がこれを達成したことは驚きと共に報じられている。私は同窓会の役員もしているので全国の同窓会支部に出かけてOBと話をする機会が多い。また、私の研究上の専門は「まちづくり」なので市内・県内の様々な市町を会議や調査で回る機会が多い。入試志願者数全国2位でも喜びの声は聞いたが1位でかつ三冠となるとOBは喜びを隠さない。たいへんな盛り上がりである。私もメンバーの群馬県支部のOB会のLINEでは、報道がされる度に誰かが必ず見ていてLINEに流し、それについて喜びのコメントや万歳・歓喜・応援の賑やかなスタンプが続く。ある時の地方の高齢OBの話。孫から「おじいちゃんはスゴイ大学を卒業していたのだね～」と言われたとのこと。そのOBの顔は嬉しさにクチャクチャ。県内各地を回っても反響がスゴイ。「千葉工大すごいだね」「優秀な大学ですね」「うちの子も目指している」などなど。

都市環境工学科 鎌田 元弘

四季雑感



今年のゴールデンウィーク、運動不足を解消したくて友人を誘い、一緒に山登りに行ってきました。普段は通勤や買い物で街中を行き来するばかりで、自然の中で過ごすことがほとんどなかったのも、思い切って出かけることにしました。あいにくの雨模様でしたが、新緑の山道を歩きながら、新鮮な空気に触れるうちに、少しずつ気持ちがほぐれていきました。山頂でのコーヒー用にお水を多く持ってきたせいか途中で息が切れ、「やっぱり運動不足だなあ」と実感しましたが、友人と笑いながら登る時間は楽しく、良い思い出になりました。やっとのことで山頂に着いたとき、コーヒーをいれて飲むひとときが最高でした。温かいコーヒーと美しい景色が疲れを吹き飛ばしてくれました。下山後は足がパンパンになりましたが、体を動かしたことで心も体もリフレッシュでき、達成感を感じました。

次回はもっと体を鍛え、より良い装備を整えて、余裕を持って登れるようにになりたいです。

総務部人事担当 西岡 護

編集だより



ホンダのスーパーカブが姿を消す一そんな噂を聞いた夫が、ファイナルエディションに滑り込みで申し込みを決めた昨年12月。待ちに待ったスーパーカブがわが家にやってきました。自宅前の自転車3台に囲まれたその姿は、なんともレトロで、いい具合の薄い水色でかわいらしい。

思えば昔、酒屋を営んでいた実家では、父がこのカブにビールケースを積んで走っていました。私も車の免許を取ったあと、夏の忙しい時期には、よく配達を手伝ったものです。

納車の日、「乗ったことある方は？」と尋ねられ、私だけが手を挙げてみたものの、もう数十年前のこととあり、覚えているかどうかは笑ってごまかしました(苦笑)。

最近では盗難も多いと聞き、防犯対策に夫は試行錯誤しています。

風を感じながら海沿いを走っていたあの頃のロマンを求めるには、都内からだちょっと勇氣がいるものの、近くのスーパーまでなら、頼れる「相棒」としてちょうどいい気がしています。

入試広報部 大橋 慶子